

事業者アンケート調査報告

1. 調査概要

(1). 調査の目的

事業者の環境に関する意識・行動の状況、施策へのニーズ等を把握するため、アンケート調査を実施した。

(2). 調査の方針

- ・ 現行計画における市の環境施策の評価や今後の施策検討に資する設問のほか、事業者の意識がどのように変わっているかを把握する項目設定を行い、環境行動等を問う設問については、行動変容を促すうえで課題となっている点などを把握する設問設定を行った。
- ・ また、従来の「環境問題」だけに限らず、「経済」との関係などの設問のほか、近年の社会動向を踏まえた「SDGs」や「気候変動の影響」等について、把握する設問設定も行った。

(3). 調査概要

【調査対象】

事業者 200事業者

【調査票の枚数】

A3版両面印刷2枚の2つ折り(A4版8頁形式(依頼文含む))

【配布、回収方法】

郵送

【集計方法】

単純集計及びクロス集計

【回収率】

42.5% (85/200事業者)

2. 調査結果報告

(1). 属性について

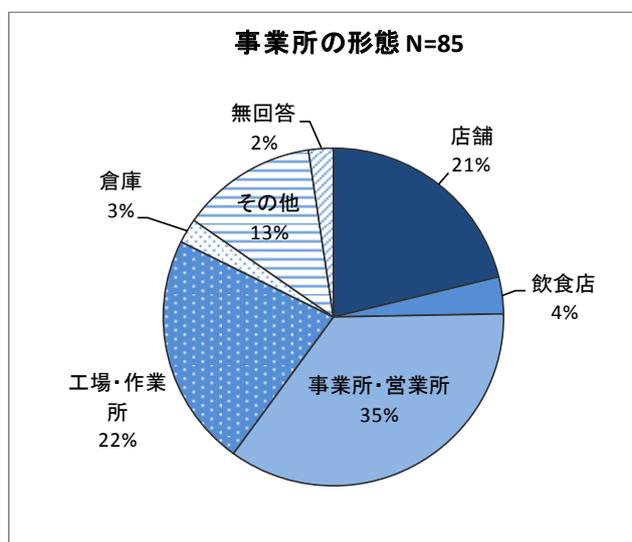
●業種（※後日分類再精査）

建設業、卸小売業、サービス業がそれぞれ 11 事業者の回答があった。

建設業	11	繊維製品卸	1
卸小売業	11	専門技術サービス業	1
サービス業	11	人材派遣	1
製造業	6	織物整経業	1
電気業	3	織布製造	1
繊維業	3	情報通信業(システム開発)	1
加工業	3	障害福祉事業	1
飲食業	3	自動車整備・販売	1
印刷業	3	歯科医院	1
釣鉤製造	2	刺繍・縫製製造加工業	1
美容	1	広告	1
農業	1	御とサービス業	1
土地家屋調査工	1	医療	1
畜産業	1	無回答	12

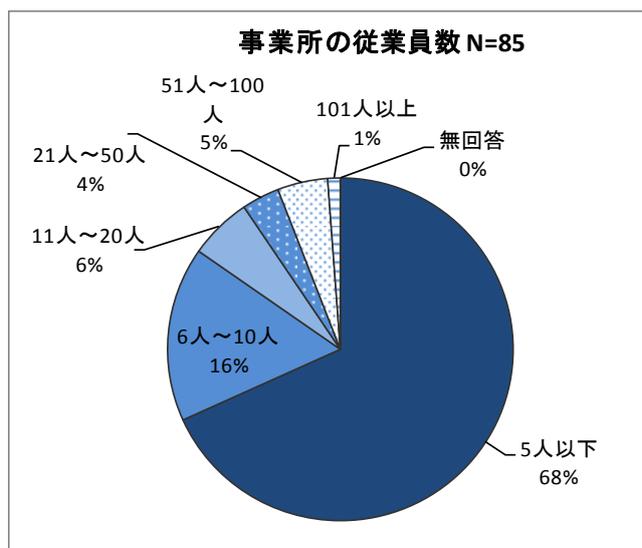
●事業所の形態

事業所・営業所が 35%と多く、次に工業・作業所、店舗が続く。



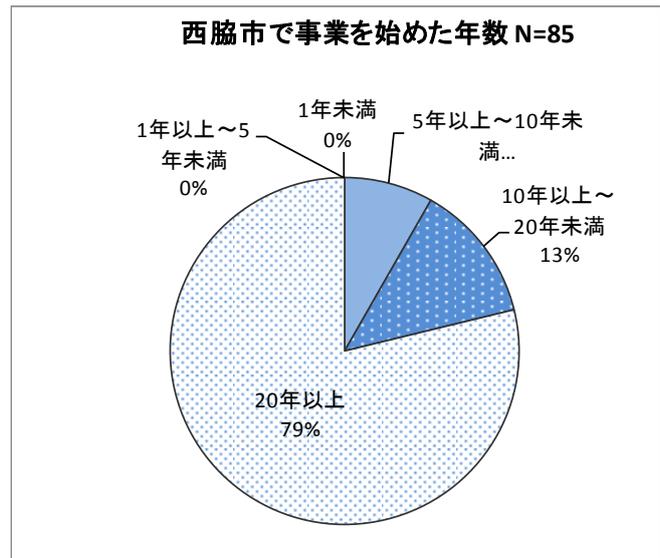
●従業員数

従業員数は、68%が 5 人以下である。



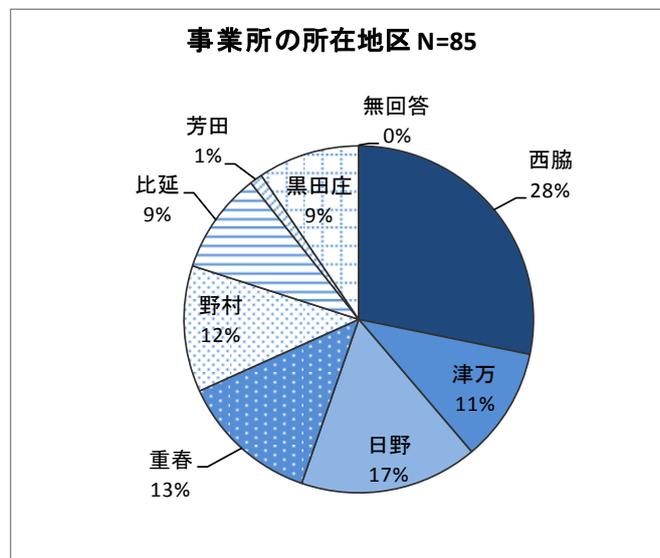
●事業を始めた年数

79%が20年以上、西脇市で事業を行っている事業者が回答している。



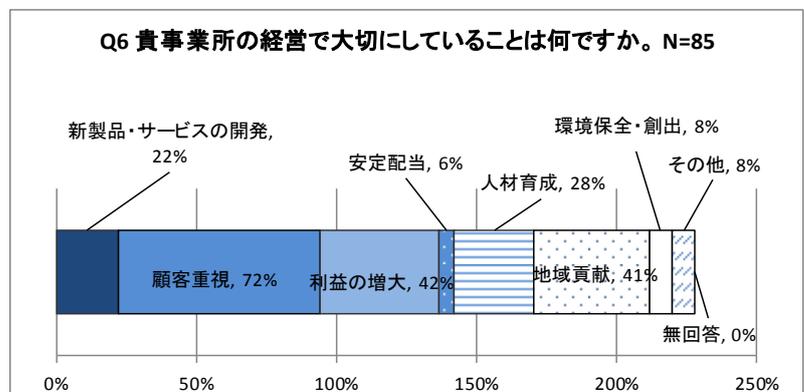
●地区

西脇地区は28%と最も多く、他、10数%と各地区に分散している。



問6 貴事業所の経営で大切にしていることは何ですか。あてはまるものを3つ選び、番号に○を付けてください。

顧客重視が72%と最も多く、次に、利益の増大、地域貢献が42%、41%と続き、人材育成、新製品・サービスの開発と続く。



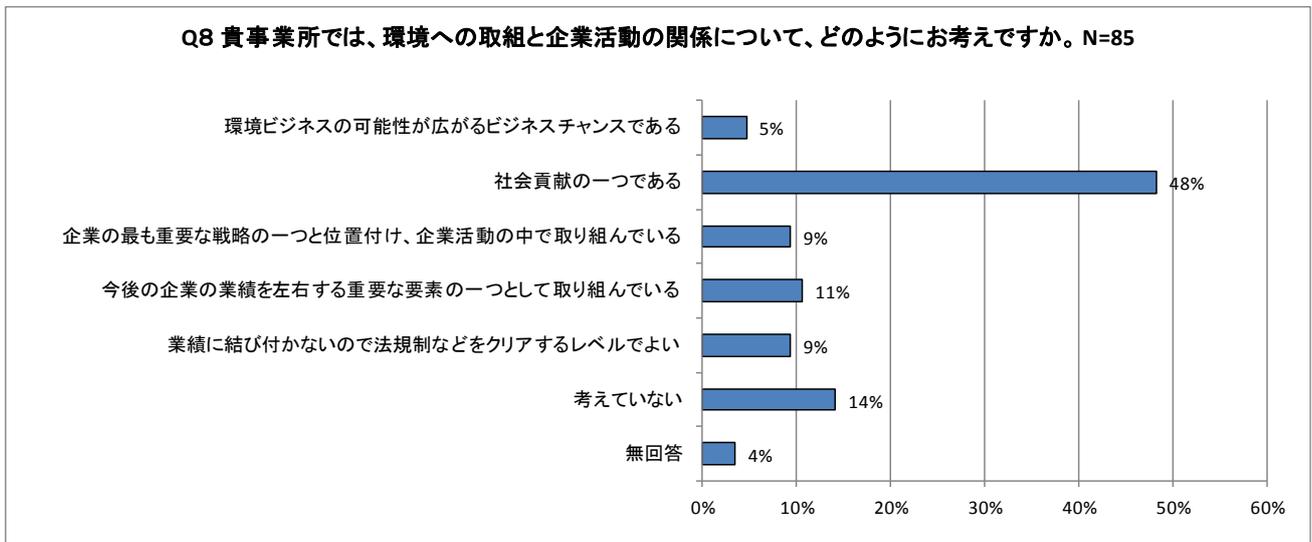
問7 ご回答いただいた方についてご記入ください。

56%が組織の代表者(代表取締役、工場長、オーナー等)が回答しており、そのほか6%、無回答38%であった。

(2) 環境に対する考えについて

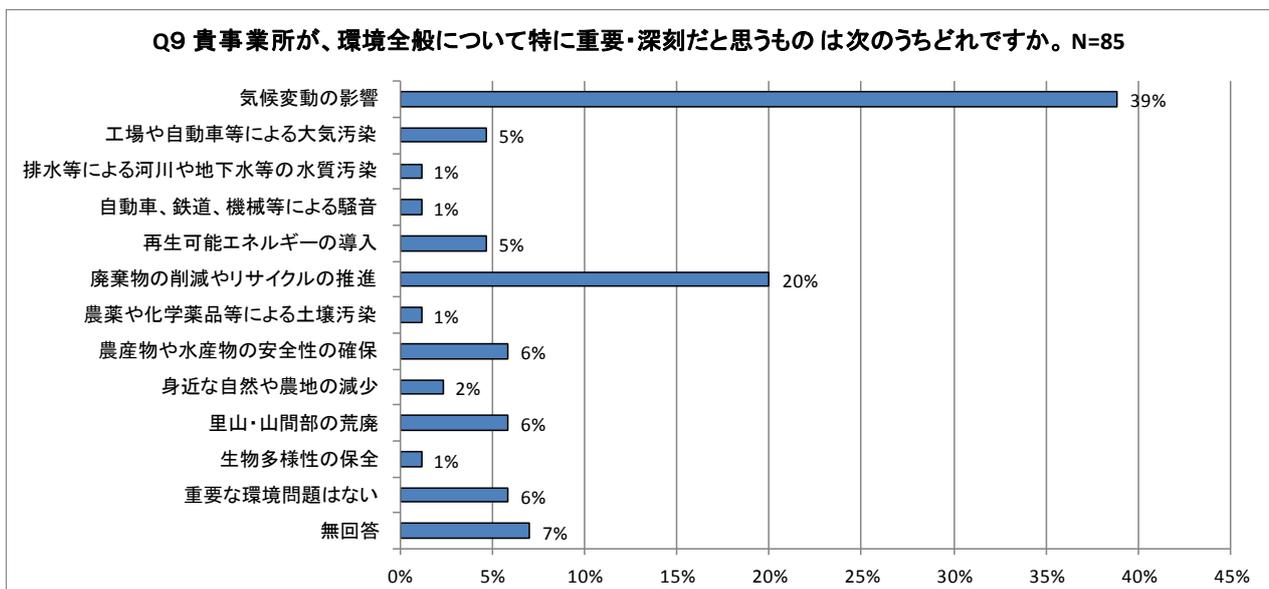
問8 貴事業所では、環境への取組と企業活動の関係について、どのようにお考えですか。

社会貢献の一つであると回答した事業者が48%と最も多く、次に、考えていないが14%、今後の企業の業績を左右する重要な要素の一つとして取り組んでいるが全体の11%を占める。ビジネスチャンスであると捉える企業は全体の5%と少ない状況である。



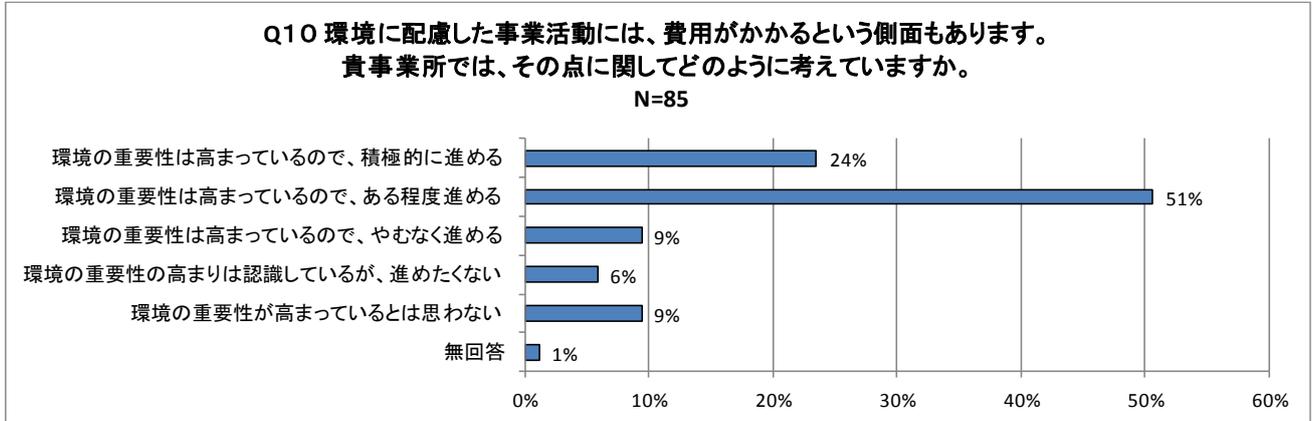
問9 貴事業所が、環境全般について特に重要・深刻だと思うものは次のうちどれですか。

気候変動の影響が最も多く全体の39%を占める。次に、廃棄物の削減やリサイクルの推進が20%を占める。



問 10 環境に配慮した事業活動には、費用がかかるという側面もあります。貴事業所では、その点に関してどのように考えていますか。

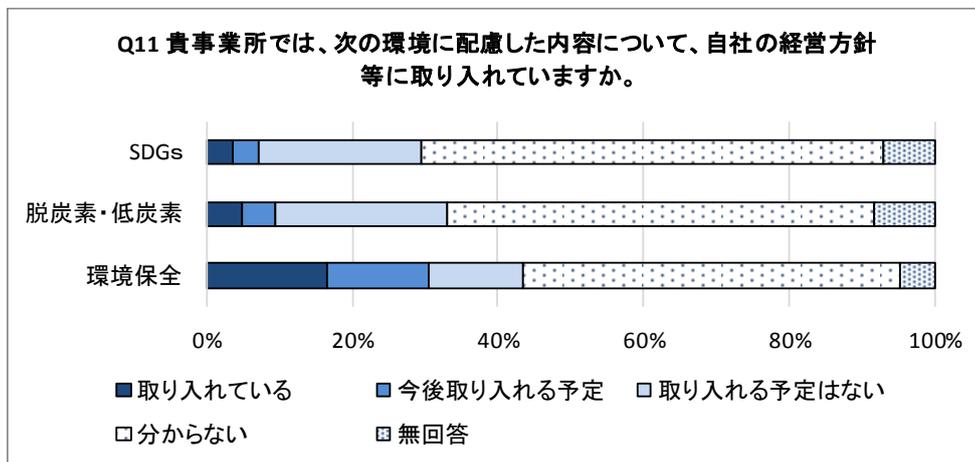
環境の重要性は高まっているのである程度進めるが全体の 51%を占め、積極的に進めると回答した事業者とあわせると、環境の重要性を感じ、取り組みを進めようとしている事業者は全体の 75%を占める。



(3) 環境に関する取組について

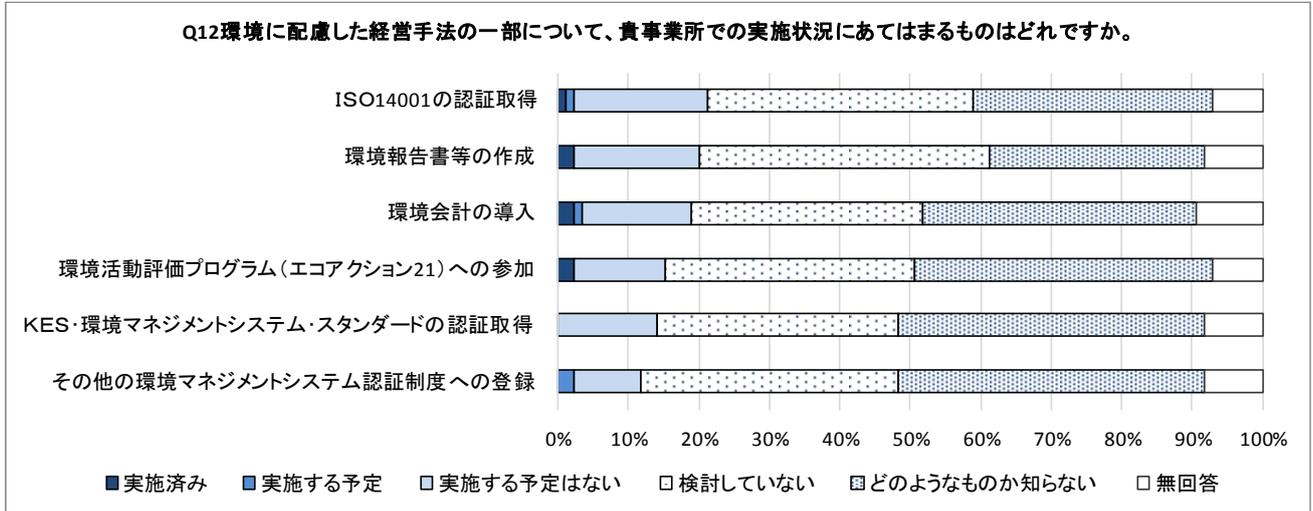
問 11 貴事業所では、次の環境に配慮した内容について、自社の経営方針等に取り入れていますか。

どの項目も分からないとする回答が最も多く、50%以上を占めている。また、取り入れている順でいうと、環境保全、脱炭素・低炭素、SDGsの順となる。



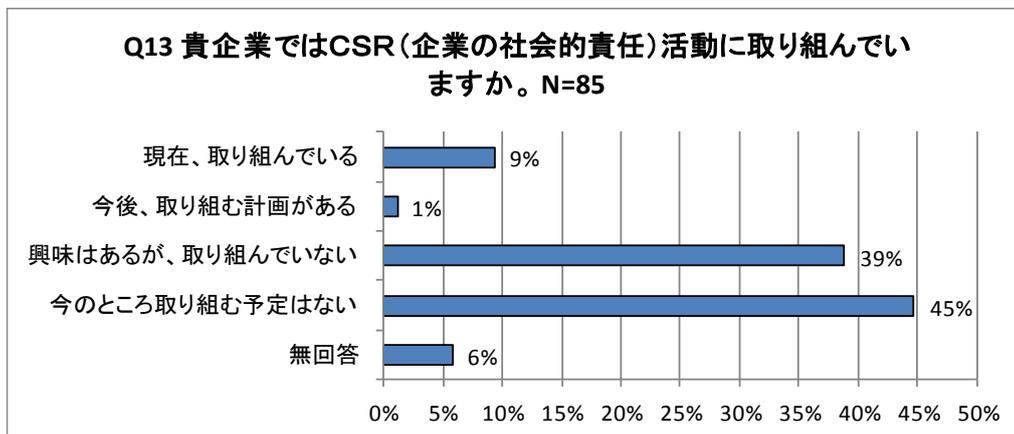
問 12 下の表は、環境に配慮した経営手法の一部です。これらの手法について、貴事業所での実施状況にあてはまるものについてお答えください。

どの認証制度についても、どのようなものかわからないが全体の約 30%~45%を占める。また、検討していないと回答した割合も約 30%~40%の割合を占める。



問 13 貴企業ではCSR（企業の社会的責任）活動に取り組んでいますか。

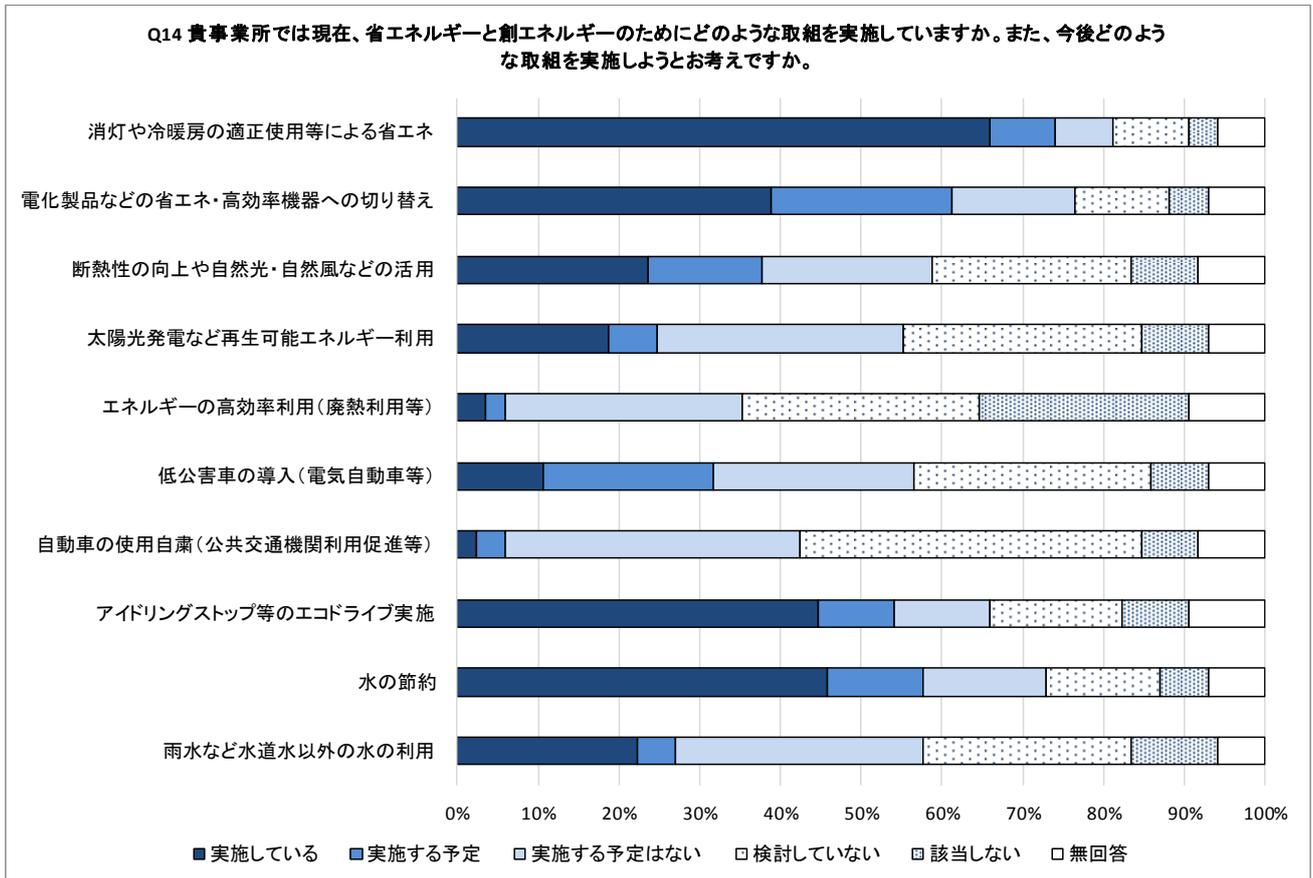
CSR に関する取り組みも、今のところ取り組む予定はないが最も多く全体の 45%を占める。一方、興味はあるが、取り組んでいないが次に多く、39%を占める。



問 14 貴事業所では現在、省エネルギーと創エネルギーのためにどのような取組を実施していますか。また、今後どのような取組を実施しようとお考えですか。

消灯や冷暖房の適正使用等の省エネが最も多く、全体の 66%が実施している。次に、アイドリングストップ等のエコドライブの実施、水の節約が全体の約 45%が実施している。

実施する予定では、省エネ・高効率機器への切り替えや低公害車の導入が約 20%を占める。

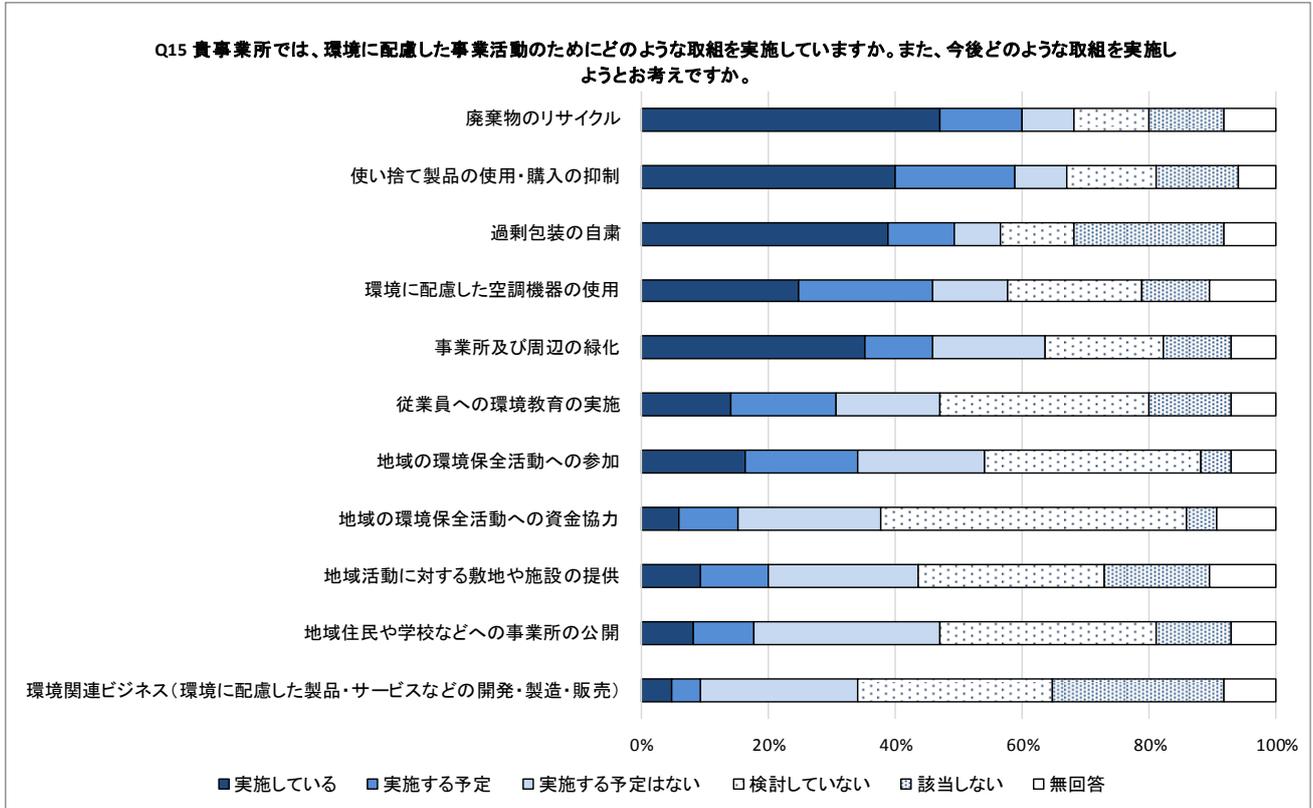


取組状況について

	実施している	実施する予定	実施する予定はない	検討していない	該当しない	無回答	合計
消灯や冷暖房の適正使用等による省エネ	66%	8%	7%	9%	4%	6%	100%
電化製品などの省エネ・高効率機器への切り替え	39%	22%	15%	12%	5%	7%	100%
断熱性の向上や自然光・自然風などの活用	24%	14%	21%	25%	8%	8%	100%
太陽光発電など再生可能エネルギー利用	19%	6%	31%	29%	8%	7%	100%
エネルギーの高効率利用(廃熱利用等)	4%	2%	29%	29%	26%	9%	100%
低公害車の導入(電気自動車等)	11%	21%	25%	29%	7%	7%	100%
自動車の使用自粛(公共交通機関利用促進等)	2%	4%	36%	42%	7%	8%	100%
アイドリングストップ等のエコドライブ実施	45%	9%	12%	16%	8%	9%	100%
水の節約	46%	12%	15%	14%	6%	7%	100%
雨水など水道水以外の水の利用	22%	5%	31%	26%	11%	6%	100%

問 15 貴事業所では、環境に配慮した事業活動のためにどのような取組を実施していますか。また、今後どのような取組を実施しようとお考えですか。

廃棄物のリサイクルや使い捨て製品の使用・購入の抑制、過剰包装の自粛など、廃棄物に関する取り組みが約 40%の事業者が取り組んでいる。

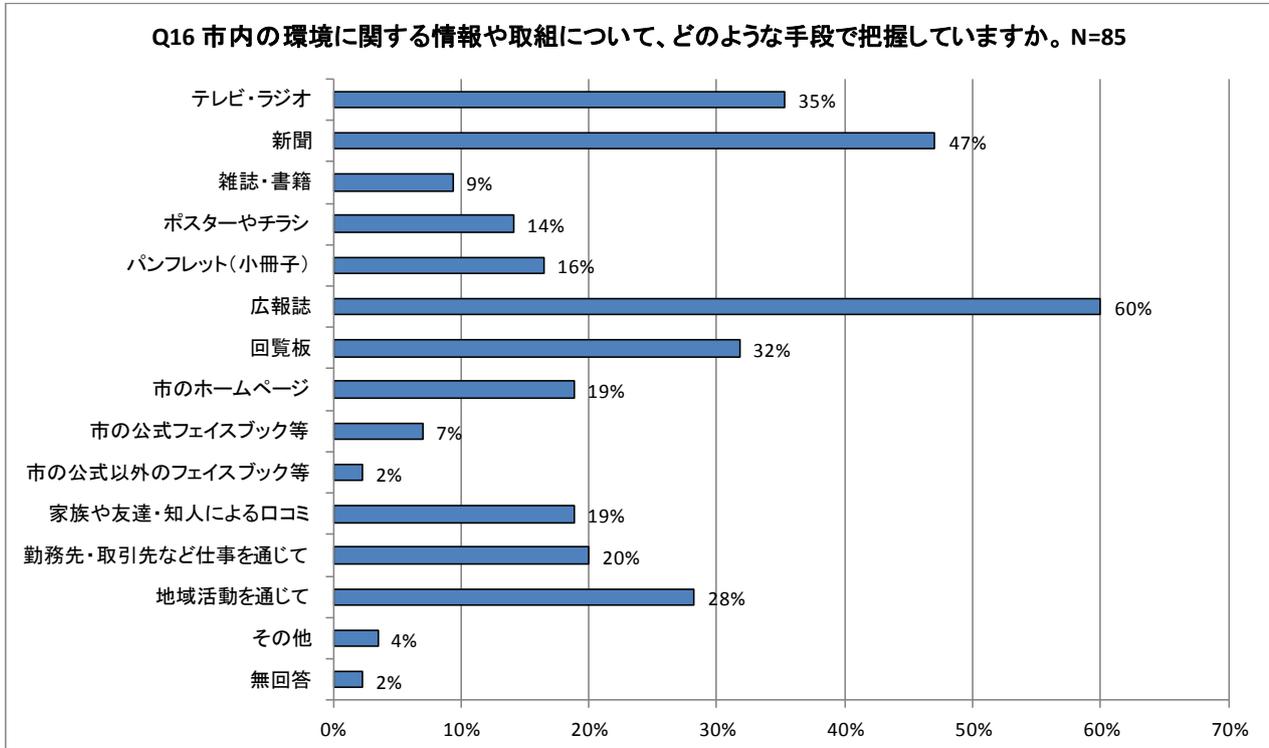


環境に配慮した取組

	実施している	実施する予定	実施する予定はない	検討していない	該当しない	無回答	合計
廃棄物のリサイクル	47%	13%	8%	12%	12%	8%	100%
使い捨て製品の使用・購入の抑制	40%	19%	8%	14%	13%	6%	100%
過剰包装の自粛	39%	11%	7%	12%	24%	8%	100%
環境に配慮した空調機器の使用	25%	21%	12%	21%	11%	11%	100%
事業所及び周辺の緑化	35%	11%	18%	19%	11%	7%	100%
従業員への環境教育の実施	14%	16%	16%	33%	13%	7%	100%
地域の環境保全活動への参加	16%	18%	20%	34%	5%	7%	100%
地域の環境保全活動への資金協力	6%	9%	22%	48%	5%	9%	100%
地域活動に対する敷地や施設の提供	9%	11%	24%	29%	16%	11%	100%
地域住民や学校などへの事業所の公開	8%	9%	29%	34%	12%	7%	100%
環境関連ビジネス(環境に配慮した製品・サービスなどの開発・製造・販売)	5%	5%	25%	31%	27%	8%	100%

問 16 市内の環境に関する情報や取組について、どのような手段で把握していますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

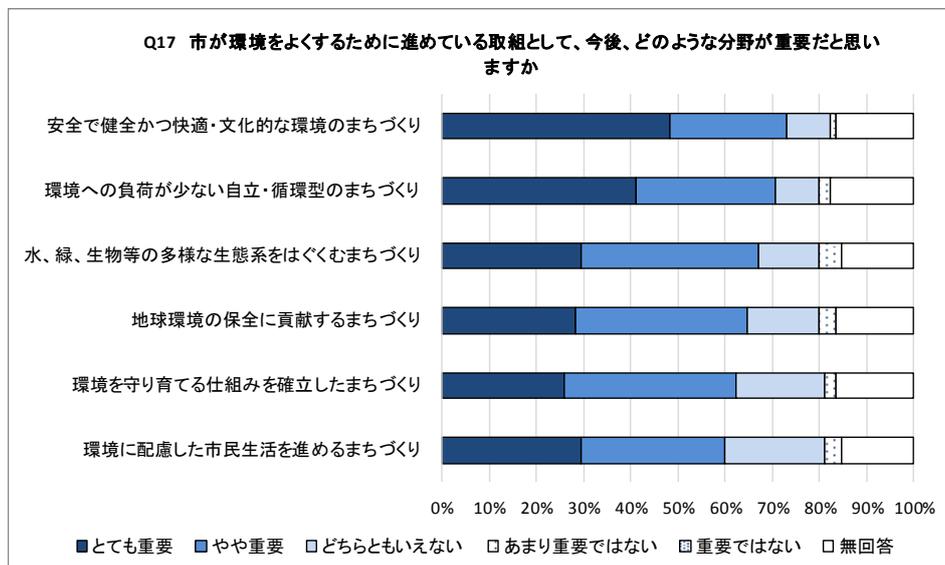
広報紙が最も多く、全体の 60%を占め、次に、新聞、テレビ・ラジオが続く。また、地域活動を通じてが、全体の 28%を占める。



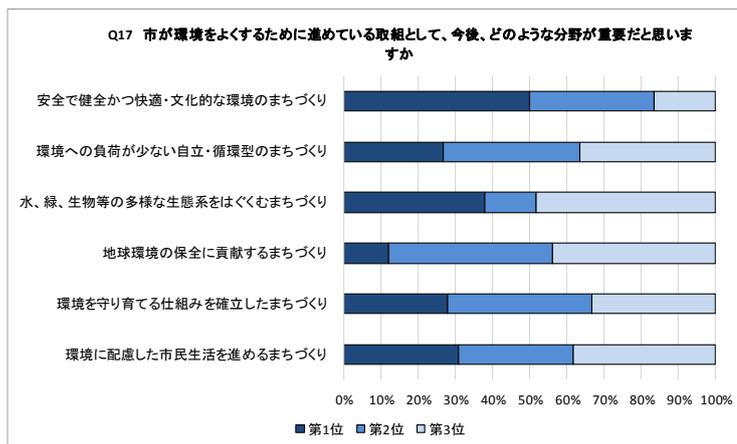
(4) 環境に関する今後の取組について

問 17 市が環境をよくするために進めている取組として、今後、どのような分野が重要だと思いますか。

安全で健全かつ快適・文化的な環境のまちづくりについて、全体の 48%がとても重要と回答している。次に、環境への負荷が少ない自立・循環型のまちづくりについて、全体の 41%がとても重要と回答している。

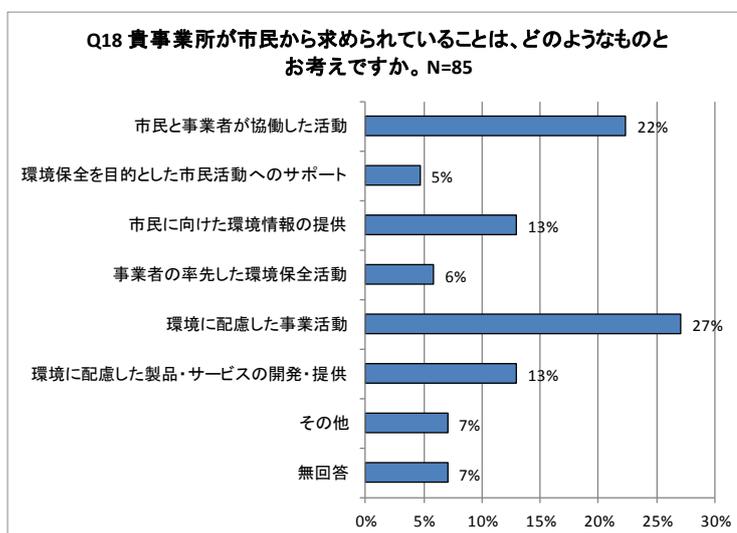


重要度の順位では、1位を獲得した割合が高いのは、安全で健全かつ快適・文化的な環境のまちづくりで、次に、水、緑、生物等の多様な生態系をはぐくむまちづくりが続く。



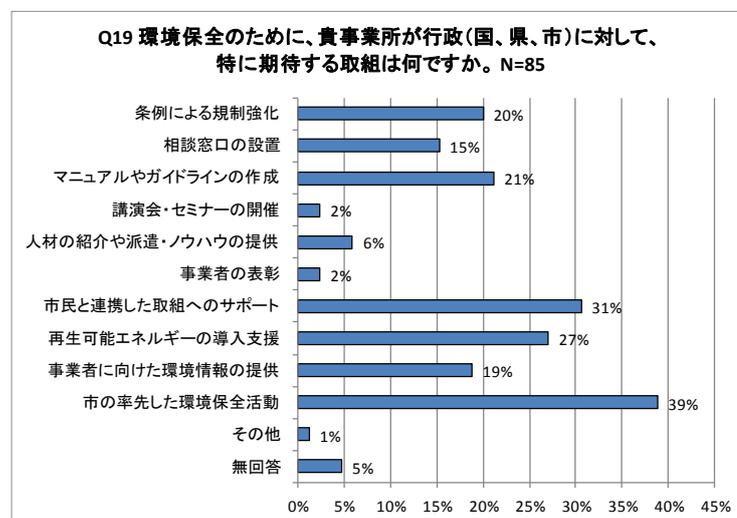
問 18 貴事業所が市民から求められていることは、どのようなものとお考えですか

環境に配慮した事業活動が27%を占め、次に、市民と事業者が協働した活動が22%を占める。



問 19 環境保全のために、貴事業所が行政（国、県、市）に対して、特に期待する取組は何ですか。あてはまるものを2つ選び、番号に○を付けてください。

市の率先した環境保全活動が最も多く全体の39%を占める。次に、市民と連携した取組へのサポート、再生可能エネルギーの導入支援が続く。



事業所の規模別にみると、6人以上の事業所と比較し、5人以下の事業所で期待する取組として占める割合が大きいのは、市民と連携した取組へのサポート、マニュアルのガイドラインの作成である。一方、条例による規制強化が占める割合は、5人以下の事業所と比較して、6人以上の事業所で占める割合が大きい。

<従業員人数とのクロス集計>

	回答者数	条例による規制強化	相談窓口の設置	マニュアルやガイドラインの作成	講演会・セミナーの開催	人材の紹介や派遣・ノウハウの提供	事業者の表彰	市民と連携した取組へのサポート	再生可能エネルギーの導入支援	事業者に向けた環境情報の提供	市の率先した環境保全活動	その他	無回答
5人以下	58	16%	14%	24%	2%	5%	3%	36%	29%	17%	40%	2%	3%
6人以上	27	30%	19%	15%	4%	7%	0%	19%	22%	22%	37%	0%	7%

※行の合計が100%

<事業形態とのクロス集計>

	回答者数	条例による規制強化	相談窓口の設置	マニュアルやガイドラインの作成	講演会・セミナーの開催	人材の紹介や派遣・ノウハウの提供	事業者の表彰	市民と連携した取組へのサポート	再生可能エネルギーの導入支援	事業者に向けた環境情報の提供	市の率先した環境保全活動	その他	無回答
店舗	18	11%	17%	17%	0%	6%	6%	28%	33%	22%	28%	0%	11%
飲食店	3	33%	0%	33%	0%	0%	0%	0%	33%	33%	67%	0%	0%
事業所・営業所	30	23%	17%	13%	3%	10%	3%	33%	27%	10%	47%	3%	3%
工場・作業所	19	21%	26%	32%	5%	0%	0%	21%	21%	21%	32%	0%	5%
倉庫	2	0%	0%	50%	0%	0%	0%	0%	100%	0%	0%	0%	0%
その他	11	27%	0%	27%	0%	9%	0%	45%	9%	36%	45%	0%	0%
無回答	2	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%	50%	0%	50%	0%	0%

※行の合計が100%

自由意見

- 河川等、全てコンクリートになってきています。生態系を守るのではなく、昔にもどす努力を魚のいる河川、杉の木のない山にもどし、市の東西に移動する信号、道路等の整備。
- 内容が難しすぎてわかりにくい。もうちょっと理解できる言葉で書いてほしい。
- よくわかりませんが、年々増加する大雨(台風を中心とした)等で、どの地域にも災害の危険性があると、ヒシヒシと実感しています。被害が出る前に総合的な対策を立ててほしいことと、日頃から地域、市民の声を収集していただけたらありがたいと思っています。
- 国道沿いに自宅があり、トラックの排ガスと騒音がひどいが、何も改善されない。自然環境の保護よりも、地域の安全(交通、防犯)を優先していただきたい。
- 自然豊かな西脇で環境保全と言われても・・・あまりピンときません。こんな事に税金使うならもっとするべき事を考えてほしい。
- ゴミステーション 協力が少
- 今最も重要な事項だと感じていますが、実際どのように取り組んでいいのかわからないのが現状です。空調の温度設定、海洋プラスチックをどのようにすれば軽減できるか?等、情報公開が必要だと感じています。次世代、次々世代の子供達に住みよい環境を残したいです。
- 環境保全は、この先とても重要な事だと感じていますが、取組方が、よくわかりません。行政の方から、ガイドラインなどをもっと発信してほしいです。
- リサイクル、省エネなどの環境もちろん重要な取組ですが、空き家、空き地の生活環境の整備、子供達が

安心して遊べる場所がもっと増えていけば町の活性化とともに様々な活動が進んでいくのでは、と考えます。

- 杉原川の大木～富田の間の川にごみがよく流されている。誰かがごみを橋の上からほかしているみたいです。
- 人口の増える市の力を高めるような取組をお願いしたい。流出する一方、住みやすく、事業活動をしやすい市を設計して頂きたい。